

# いとすぎ祭

## 第14回いとすぎ祭を終えて

実行委員長 3年 吹原 鈴菜

第14回いとすぎ祭は5月25日から27日に行われました。今年のテーマは「Infinity~可能性は∞~」でした。このテーマには、自分たちの可能性を信じて挑戦するという意味が込められています。来てくださる方に楽しんでもらえるような学祭にしたいと思って準備を進めてきました。また、地域の方々、先生方、企業の方々などたくさんの方々にご協力いただきました。

成功させるために、企画ごとにアイディアを出し、何度も委員で話し合いを行いました。準備をしていく中でうまくいかないこともありましたが、テーマの通り、可能性を信じて協力し合うことで、いい企画を作り上げることができました。

当日は、それぞれの企画に多くの人が足を運んで下 さり、たくさんの笑顔がみられました。また、大盛り 上がりだった大西ライオンさん、どきどきキャンプさ んによるお笑いライブや、日本赤十字社和歌山医療セ



ンターの大津聡子先生による大変貴重なご講演をいた だきました。

いとすぎ祭を通して、実行委員で力を合わせれば、 大きなものを作り上げることができるという無限の可 能性を感じました。約1年間の準備を通して、3学年の 実行委員の絆が深まったこともとても良かった点だと 思います。本当にありがとうございました。

# 体育祭

## 大成功の体育祭

実行委員長 3年 武内 萌香

体育祭当日、グランドでは雨が降るなかでキックベースが開始されました。チームカラーでそろえた可愛い衣装やセットされた髪の毛が雨に濡れるのを気にしながらも、全力で走って蹴って楽しむ様子がたくさん見られました。体育館ではバレーボールが行われ、割

合としては少ない男子学生や経験者の学生が活躍して おり、たくさんの歓声やどよめきがあちこちで上がっ ていました。午後の競技は、全員が参加応援できるよ う玉入れとぐるぐるバットをチーム対抗で行いました。 勝敗を決めるだけでなく、学年の壁を越え関係を広げ



ていくことも体育祭を行う目 的です。だから最後に集合写 真を撮った時、どのチームも たくさんの笑顔で溢れていた ことを大変嬉しく思いました。 準備や進行に積極的に参加し てくれた体育祭委員のみんな にはとても感謝しています。 そして何より、楽しかった、 ありがとうと、胴上げしてく れた3年生の参加者のみんな に私からも心からのありがと うを伝えたいです。

# 赤十字防災ボランティア研修

## 赤十字防災ボランティア研修に参加して

### 1年 藤村 優香

6月24日に赤十字防災ボランティア研修に参加しました。日本赤十字社の愛知県支部の方とボランティアスタッフの方から講義を聞いた後に演習を行いました。 演習内容は無線、テント張り、三角巾を使用した包帯の巻き方、毛布を使用した担架の作り方などで様々な

ことを学びました。お昼は炊き 出しを行い、ポリ袋にお米を入し れ釜で炊き、カレーを食習ると た。特に印象に残った演習すると 帯の巻きく怪我をされた少の置を けでなケーショした状態で 大の世まで行うこというな の地理 を発きない の地理を がいれたの を記して のもいるというな というお というお 話を聞き素晴らしさを改めて実感しました。災害はいつ発生するか分かりません。いざ災害が起きたときに今回のこの防災ボランティア研修で学んだ正しい知識と正しい技術をしっかりと活かせることが大切であると実感しました。



# オープンキャンパス

# オープンキャンパスに参加して

### 3年 山﨑 彩花

私は7月22日に開催されたオープンキャンパスに、 小児領域の学生スタッフとして参加させていただきま した。私がお手伝いしようと思ったきっかけは、高校 生のときに、本学のオープンキャンパスに参加し、先 生や先輩方が優しく大学生活や実習についてお話をして下さったことや、技術体験のときに丁寧に教えて下さったことを覚えていたからです。当時、私も入学したら、スタッフとして高校生に魅力を伝えていきたい

と思いました。

当日は高校生に、赤ちゃんの抱き 方、身体計測、着替えやおむつ交換 などを実演し、高校生にも実際に体 験してもらいました。体験したとき、 「可愛い!」や「赤ちゃんってこん なに重いんだ!」などと感想を聞か せてもらいました。楽しそうに体験 しているところを見て、私も大変嬉 しく思いました。高校生に、「日本 赤十字豊田看護大学で看護を学びた い」と思うきっかけになれば良いな と思います。



## 新入生合宿研修

## 赤十字への一歩

1年 酒井 楓音

私は新入生合宿研修が、入学して2週間後にあることを知って、不安でいっぱいでした。始まったばかりの学校生活に慣れていなかったり、まだ同じ学年の中

でも知らない子がいたりと、2日間うまくやっていける自信がありませんでした。しかし、研修ではグループで活動することが多く、これまで話したことのなかった人とも自然と話すことができました。初日に行われた明治村見学では、赤十字を知る良いきっかけとなり、また赤十字の理念を身近に感じることができました。この研修を通して、自分の意見だけでなくグループメンバーの意見を聞くことで、今までとは違った視点から物事を考えられるようになりました。そしてその中でも同じ意見を持つ人がいることがわかり、

一緒に看護師を目指す仲間として、とても嬉しかったです。これからもこの2日間で学んだことを生かしながら、広い視野をもって取り組んでいきたいです。



# 英国語学研修

## 異文化社会の中で

1年 川上 風音

私達は夏休みを利用して3週間、イギリスへ語学研修に行ってきました。初めての海外、初めて話す仲間たち、そして日本語が通じない環境…と不安でいっぱいの研修でしたが、仲間たち、環境と共に、あっという間に打ち解けていきました。

私たちがホームステイをしたのはイギリス南部のプリマスという海沿いの小さな町です。そこで、語学学校にて少人数のクラスでレッスンを受けました。日本での授業とは違い、どんどん発言することが求められ



る授業です。聞き取ることはできても自分が思ったことをすぐに英語で伝えることが出来ないもどかしさ、 他国の人が積極的に発言しているのを横目に、どうしても消極的になってしまう自分たちに戸惑うことも多 くありました。

しかし、先生方がやさしく耳を傾けてくださったり、 わかりやすく説明してくださったおかげで理解が深ま り、英語を学ぶこと、話すことが楽しくなっていきま した。

また、赤十字のプリマス支部や病院、老人ホーム、ホスピスなど、イギリスの医療機関や施設を訪問させていただきました。日本とは制度も設備も違うイギリスの医療施設を間近で見学することができ、とても充実した時間となりました。

今回のこの研修により、英語をより身近に感じることができ、沢山の知識を得たことで視野が広くなったと感じました。これから私たちが歩んでいく看護の世界で日本語だけでは対処できない面も出てくると思います。そんなときに、今回学んだことを十分に生かし、また、国際的にも活躍できる看護師になれるよう努力していきたいと思います。

# サークル紹介

## 災害支援サークルDMACについて

### 2年 山本 遥香

私たち災害支援サークルDMACは、災害に関する知識を深め、実際の現場でも役に立つ実践的なものを学ぶことを目的としたサークルです。具体的な活動とし

RDHE

活動終了後、消防団長さんと

ては、まず、月に一回勉強会を開いており、これまで にトリアージやマスコミ対応などを学びました。長期 休暇には東北地方でのボランティアを通じて、被災地

の状況を自分の目で見て確かめ、改めて災害について考えるきっかけとしています。まだ復興の進んでいない地域に少しでも役立てたら、という思いのもとで活動しています。また、今年度からメンバーの一部が豊田市の機能別消防団員に所属し、活動しています。11月12日には消防団一日体験入団に参加し、他大学の学生と協力して看護学生として救急法などを高校生に教える活動をしました。以上のような活動を通して、DMACでは今後も災害への関心・知識を高め、着実に力を身につけていきます。

# **RCT**☆LINK

## サークル活動を通して得たもの

### 2年 太田 佳那子

私は今、学校でサークル活動に力を入れています。DMACという災害支援サークルや、「子どもたちのために」というテーマの下で活動しているThe Serendipityというサークルで年に一回カンボジアに行き、ほかにも学外などで災害や救急の勉強を学んだりしています。このような活動を通して、知識だけでなく組織



の中で動いていく力や、その中で自分の役割をいかに 自分で見つけ出せるか、つまり主体的に動いていく力 を身に着けることができていると実感しています。周 りの人と比べるとまだまだかもしれませんが、これら の活動をしたことでこそ身についた力だったと思って います。また、学外で看護学以外の医療系の学問を学 ぶ学生と関わることで視野も格段に広がり、たくさん

の人と関わることができます。

看護師は個人ではなく集団の中で働いていかなければならないので、ここでの活動は将来看護師になってからも糧になることばかりです。今後もこのような活動を続けていきたいです。

### 次回 RCT☆LINK

⇒ 2年 瓜田 琴子 さん

# 冷大学の活動 る

# ナイチンゲール記章授章式

## 看護学生として参加させていただいて

### 4年 杉山 和歌奈

今回、私たちは第46回目となるフローレンス・ナイチンゲール記章授与式に参加させていただきました。授章式の後には講演会があり、今回受章された名古屋第二株十字病院の副院長兼看護部長人こでもいら直接お話を聞くこできました。その講演会のできました。その講話動は一人ではですない」という伊藤さんのお言葉ができましたのおおり、改めでもい」という晩業に奥深さを感じました。



これまで大学生活だけでも実習や勉強など、困難な 壁に立ち止まってしまうことも多々ありましたが、振 り返ってみると仲間や先生、両親など、本当に多くの 方、周りの方たちに支えられながら何とか乗り越えて 来られたことに改めて気づきました。

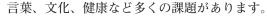
これからは感謝の気持ちを持って、伊藤さんのお言葉をお借り致しますが、人間として「慮り」ながら「看護」の道を前進していけるよう、努力していきたいと思っております。

# ブラジル人学校での身体測定会

# ブラジル人学校での身体測定会を実施して

ヘルスプロモーションセンター長 野口 眞弓

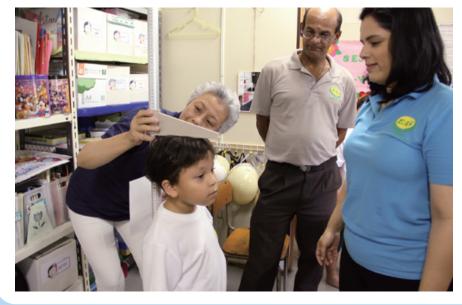
現在のわが国の在留外国人約230万人のうち、ブラジル人は18万人余りで、その1/4以上が愛知県に住んでいます。その中でも、特に多くのブラジル人が家族で暮している豊田市にはそのコミュニティや学校があり、



今年7月、伯人学校イーエーエス豊田を本学の教職員 5名で訪問し、身長、体重、血圧、骨密度の計測を行い ました。今回の訪問は、昨年に引き続き2回目です。こ

> の学校には、3歳から18歳までの234 名が在籍しており、そのうち116名 の計測を行いました。

> 測定に大喜びしてくれる子どもたちに囲まれて、3時間半ひたすら計測を続けました。肥満傾向や血圧が高めの子どももおり、継続的なかかわりが必要です。本国では年2回の身体計測があるそうですが、ここでは実施していませんでした。学校長も身体計測の継続を希望されており、今後、生徒の健康教育につなげたいと思います。



# 後援会の活動

## 平成29年度後援会 会長挨拶

### 後援会 会長 大竹 美智子

今年度、後援会会長を務めさせていただくことにな りました大竹です。

後援会活動といたしましては、主にいとすぎ祭の開催支援金の助成と教育資材の整備支援を行っております。今年度は、災害看護学の授業において効果的な演習となるよう心肺蘇生用シミュレーション人形の助成を行いました。今回初めての試みでありましたチューター教員と保護者との交流会を総会後に開催いたしました。40名以上の保護者の方のご参加をいただきありがとうございました。個別でお話しをする時間も設けていただき、日頃聞くことのできないご相談などもできたことと思います。

また、来年度から学生生協が設立されることになりました。さらなる学生生活の向上に期待しております。

今後も後援会として、自治会等の行事や学校生活が 快適なものになるよう学生支援を行っていくため、ご 理解ご協力をお願いいたします。



平成29年度後援会役員一同

# 保護者と教員との交流会

# 保護者と教員との交流会を実施して

### 学部長 村瀬 智子

本学の教育活動は、日本赤十字豊田看護大学後援会によって支えられております。

今般、開学14年目にして初めて、本後援会から保護者と教員との交流会開催についてのご提案があり、いとすぎ祭が賑やかに開催される中で、平成29年5月27日に開催が実現しました。

本交流会のプログラムは、 鎌倉学長からの将来ビジョ ンについての説明に始まり、 各担当教員から、4年間の カリキュラムと臨地実習の 概要、国家試験支援、就職 支援、海外実習・研修につ いての概要説明が行われま した。その後に、チュータ した。その後に、チュータ との交流が行われました。

開催後の保護者アンケートの結果からは、「今後の大学の将来像や教育方針がよく分かった」、「直接、教員と話ができたことで子

どもの大学生活の様子を知ることができ、親として安心できた」、「丁寧な教育をしていただけそうで安心した」、「看護の大切さがしっかり身につく大学だと思った」等の貴重なご意見を項戴しました。

今後も様々な場面で保護者の皆様と共に、学生の皆 さんを支えて参りたいと思います。



# Information

### 平成30年度 日本赤十字豊田看護大学看護学部看護学科入学試験日程

(試験会場 日本赤十字豊田看護大学 : 愛知県豊田市白山町七曲12番地33)

試験の種類	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間	選 抜 方 法(科目等、配点)
一般入学試験	50名	平成30年 1月4日(木)~ 1月25日(木)必着	平成30年 2月3日(土)	平成30年 2月13日(火)	平成30年 2月14日(水)〜 2月22日(木) まで	【必須科目】 国語総合(古文・漢文を除く) コミュニケーション英語II・英語表現I 【選が科目】※ (配点:1科目100点) 次の①、②、③から1つを選択 ① 数学I・数学A ② 化学基礎・化学 ③ 生物基礎・生物
大学入試 センター 試験利用 入学試験 (前期)	5名	平成30年 1月4日(木)~ 1月25日(木)必着	平成30年 1月13日・14日 本学での個別試験 は実施しません。	平成30年 2月13日(火)	平成30年 2月14日(水)~ 2月22日(木)	学力検査 [必須科目] 国 語(近代以降の文章) 英 語(英語リスニングを除く) (配点:200点満点を100点満点に換算) 数学1・数学A (配点:100点) [選択科目] (配点:100点) 理 科 生物基礎、化学基礎の2科目 又は 生物、化学の中から得点が高いもの1科目
大学入試 センター 試験利用 入学試験 (後期)	3名	平成30年 2月14日(水)~ 2月22日(木)必着	平成30年 3月3日(土)	平成30年 3月13日(火)	平成30年 3月14日(水)~ 3月22日(木)	学力検査 [必須科目] 英 語(英語リスニングを除く) (配点:200点満点を100点満点に換算) [選択科目] ①国 語(近代以降の文章) 又は 数学I・数学Aのうち得点が高いもの ②生物基礎、化学基礎の2科目 又は 生物、化学の中から得点が高いもの1科目 (配点:100点) 面 接 (配点:50点)

- ※ 「数学A」の出題範囲は「場合の数と確率」及び「図形の性質」となります。
- 注:出願の際に必ず募集要項で確認をして下さい。

### 平成29年度公開講座(下半期)

領域	講座名	日時	内 容	定員	備考
母性看護学	シリーズ 不妊を学ぶ ~妊娠力を高める食事について考えよう~	平成30年2月17日(土) 13:30~16:45	「妊娠力」を高める食事についての講座を行い、その後は アロママッサージ、不妊を経験された方々のおはなし会を 予定しております。	40名	
小児看護学	子どもの心を育む 遊びの実際	平成30年3月17日(土) 10:00~11:30	遊びは、子どもの体とこころの成長に必要不可欠なものです。親子一緒に思いきり遊び、遊びの大切さについて考えましょう。遊んだ後の交流会では、日常的な困り事や心配事について話し合いましょう。	30名	子ども対象 年齢 3~6歳

### 平成28年度 事業活動収支計算書

#### 平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日

■事業活動収入の部 (単位				
区分	科 目	予算額	決算額	差額
	学生生徒等納付金	924,140,000	916,615,000	7,525,000
教	手数料	26,911,000	29,055,560	△ 2,144,560
<b>育活動収</b>	寄付金	2,875,000	4,471,585	△ 1,596,585
	経常費等補助金	118,038,000	99,204,456	18,833,544
	付随事業収入	0	0	0
入	雑収入	4,731,000	4,169,692	561,308
	内部取引	7,393,000	4,643,197	2,749,803
教育	<b>育活動収入計</b>	1,084,088,000	1,058,159,490	25,928,510
外 収 入	受取利息・配当金	16,828,000	17,529,367	△ 701,367
入 活	その他の教育活動外収入	0	0	0
教育	育活動外収入計	16,828,000	17,529,367	△ 701,367
特別収入	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	7,524,000	8,729,834	△ 1,205,834
特別	別収入計	7,524,000	8,729,834	△ 1,205,834
事	業活動収入計	1,108,440,000	1,084,418,691	24,021,309

	■事業活動支出の部 (単位:円)					
区分	科 目	予算額	決算額	差額		
教	人件費	630,090,000	582,580,907	47,509,093		
教育活動支出	教育研究経費	470,179,000	443,353,744	26,825,256		
	管理経費	43,894,000	41,787,185	2,106,815		
出	内部取引	16,725,000	33,763,225	△ 17,038,225		
教育	育活動支出計	1,160,888,000	1,101,485,061	59,402,939		
外 支 出	借入金等利息	0	0	0		
出話	その他の教育活動外支出	0	0	0		
教育	<b></b> 育活動外支出計	0	0	0		
特別支出	資産処分差額	1,680,000	1,679,564	436		
支出	その他の特別支出	400,000	399,845	155		
特別支出計		2,080,000	2,079,409	591		
事業活動支出計		1,162,968,000	1,103,564,470	59,403,530		
基本	金組入前当年度収支差額	△ 54,528,000	△ 19,145,779	△ 35,382,221		
基本	本金組入額合計	△ 80,661,000	△ 69,332,223	△ 11,328,777		
当年	丰度収支差額	△ 135,189,000	△ 88,478,002	△ 46,710,998		

平成28年度の財務状況は、燃料電池オーバーホール、教育環境維持向上基金創設に伴う第3号基本金への組入れ、アクティブラーニング整備費用等により135,189千円の支出超過予算でしたが、私立大学等経常費補助金「大学改革総合支援事業」においてタイプ1 (教育の質的転換) に採択され、教育研究活性化設備整備費補助金施設整備についても採択されたことによる補助金の増額、さらに人件費の減少により当年度収支差額を46,711千円圧縮することができ、88,478千円の支出超過となりました。





すっかり秋も深まり、寒さを感じる季節となりました。もう少しで平成29年も終わります。



1年生から4年生まで、それぞれに毎日の講義や実習、卒論、国試対策等に頑張っていることでしょうね。 未来の夢につながる今を精一杯楽しんでくださいね!

さて、「いとすぎの丘」vol.26では、いとすぎ祭、体育祭、赤十字防 災ボランティア研修、新入生合宿研修や英国語学研修、ブラジル人 学校での身体測定会など、本学の学生や教員がいきいきと活動した 軌跡をお届けします。楽しく懐かしい思い出の時間が蘇ってきます。

本号もご執筆を頂きました皆様のご協力にて、無事にお届けする ことができました。心より感謝申し上げます。

今後も大学の個性溢れる活動を発信してまいりたいと思います。 次回の春号も楽しみにお待ちください。

# いとすぎの丘 Vol.26

発行日/2017年11月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学 入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33 TEL 0565-36-5228 FAX 0565-36-5256 E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp HP http://www.rctoyota.ac.jp/